

備前市施策評価シート

(平成18年度事業)

施策名 (小項目)	水資源開発と水利用	コード	作成者	役職	水道工務課長
		01-01-08	氏名	川辺健作	
			電話	66-9793	

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり

施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	市民に安全で安定した水を供給できるよう、水資源の確保と水源施設の適正な管理運営を行なう。
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	本市は、一級河川の吉井川と金剛川を抱え、水源として恵まれた環境にあるが、水道は市民の健康で快適な生活と経済社会を支える根幹的な施設であり、将来にわたり安全で安定した水源を確保する必要がある。
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 水源の安定確保 節水対策

施策構成事務事業の評価

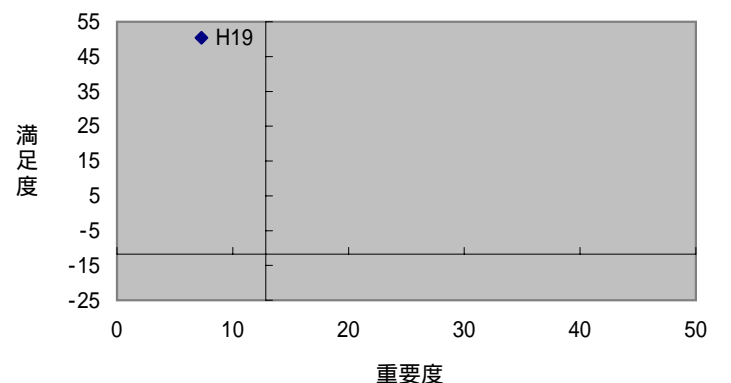
担当課長評価

施策を構成する事務事業名	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	事業 分類	事業費(単位:千円)						優先順位 その他
				H17		H18		H19		
				直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費	
1 水源管理事業	B	水源施設維持管理事業	維持管理	1,292		2,691				
		岡山県広域水道企業団運営経費等負担金	内部管理	8,581	12,451	8,100	9,465			
		吉井川坂根堰管理負担金	内部管理	5,997		5,777				
		八塔寺川ダム管理費等負担金	内部管理	2,989		4,958				

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)	H17 31,310	H18 30,991	H19
------------------------	---------------	---------------	-----

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	7.3		
満足度(%)	50.4		



高
↑
満足
度
↓
低

低 ← 重要度 → 高

<見直し領域> その施策や事業が必要か否かの検討が必要

<維持領域> 現状の方向を継続

<検討領域> その施策や事業の存続の検討が必要

<強化領域> 内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う

調査結果に対するコメント、市民の反応等	一般市民は、「水道の水」は蛇口をひねると常に出て当たりまえという感覚であり、それだけに常に安全で安定した飲料水の供給ができるように事業運営を努める。
調査対象でない施策の場合は、市民の反応等	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	評価年度		目標値		ベンチ マーク	指標の説明
		H17	H18	H23	H28		
1 水質管理項目数	目標	項目	50.0	50.0			水質管理基準項目
	実績	項目	50.0	50.0			
	達成率	%	100.0	100.0			
2 水源余裕率	目標	%	162.0	162.0			(確保している水源水量÷1日最大配水量)-1
	実績	%	162.0	162.0			
	達成率	%	100.0	100.0			
3 自己保有水源率	目標	%	89.7	89.7			岡山市参考 自己水源量÷全 水源量
	実績	%	86.1	86.1		90	
	達成率	%	96.0	96.0			
4 配水池貯留能力	目標	%	1.5	1.5			坂出市参考 配水池総容量÷ 日平均配水量
	実績	%	1.1	1.1		2	
	達成率	%	73.3	73.3			

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明
岡山県広域水道企業団	水源の確保と水質管理	県内の水道用水供給事業に関する事務を共同処理する目的で設立された企業団であり、水源開発事業や水道水質共同検査等を実施している。

施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	4	水源が良質で水源に恵まれており、安全で安定した水道水の供給が行なわれた。	4	水質、水量共にほぼ目的を達成している。
2 事業構成の適当性	3	水質管理の高度化や、浄水設備の更新が必要になるため組織を充実させる必要がある。	3	吉永地区の水質が安定するよう、浄水設備の点検に配慮を要する。
3 施策の有効性	3	将来に亘って、安全で安定した水道水を供給するために水道技術者の継承が必要である。	3	各係りの連携を密にして、水量、水質の安定に努める。
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示		先の岡山市水道局の基幹送水管が破断した事故を教訓にして危機管理の充実と、緊急通報体制の再チェックを行なう。また、広域水道や八塔寺川ダムの受水、水利権は今後の水需要が減少傾向にあるため、実態に即した見直しを行なう必要がある。一方、将来的に良質な水源を維持するため、水道技術者の世代継承を心掛けている。		上水道事業は水量に恵まれているが、簡易水道や飲料水供給施設は地形的な要因で質、量ともに天候に影響される状況であるため、係り間で連携して安定した浄水運転に努める必要がある。
二次評価者コメント 役職 上下水道部長 氏名 田代 准		施策の目標達成については、現状の供給体制が高く安定しているが、最近の事例で水質管理の水質が悪化している状況であるので注意深く監視する必要がある、水源の管理、水質の監視どちらも重要度の高く市民に安全でおいしい水を供給することが今後も必要であり予算の方向性は前年度並みの配分をお願いしたい。		平成20年度 予算の方向性 前年度並みの配分